R6.7.10 現在

人権啓発DVD一覧表

和歌山地方法務局では、人権に関するDVDを無料で貸し出しています。学校、会社、地域などで人権に関する授業や研修会等を開催する際に是非ご利用ください。
なお、DVDの詳しい内容や在庫状況について知りたい方は、以下のお問い合わせ先まで御連絡ください。

お問い合わせ先： 和歌山地方法務局人権擁護課　　電話番号 073(422)5131

対象	番号	カテゴリ	タイトル	制作時期	内容
企業	A-1	セクハラ パワハラ 同和	セクハラ・パワハラ・えせ同和行為 あなたの職場は大丈夫？	平成22年度	企業の社会的責任(CSR)が重視される時代、人権への配慮を怠った企業は、企業や顧客から信頼を失うことになります。このビデオでは、「セクハラ」「パワハラ」「えせ同和行為」をテーマに取り上げた3つのドラマを通じて、一人ひとりが人権問題に向き合い、人権について考えていくことを目的としています。 パート1「セクシャル・ハラスメント」 『企画課の佐伯栄子は、宴席で先輩から、女性であることを理由に、課長にお酌をすることを強いられるが、断固として拒否する。その後社内に怪文書が流れて・・・』【15分】 パート2「パワー・ハラスメント」 『営業課の吉田は何をしても課長に怒鳴られ続け、勤務時間外にも電話がかかってきて叱責を受ける。さらに、作成した書類に目も通してもらえず、無視されるようになり・・・』【14分】 パート3「えせ同和行為」 『総務課の山本は、同和団体を名乗る男からの電話を受ける。「同和問題に関する見解を聞きたい」との問いに窮し、参考図書の購入を一旦承諾してしまう。その後参考図書とともに高額な請求書が送られてきて・・・』【19分】
	A-2	ハラスメント	パワーハラスメントを考える ①パワハラを正しく理解するために	平成25年度	上司だけでなく、誰もがパワハラ加害者になりえる現在、何がパワハラを生み、どのような行為がパワハラになるのか、3つの事例から職場全員でパワハラを正しく理解する基礎的教材です。 〈主な内容〉 事例1「根性論を振りかざす上司」 事例2「組織からはじき出された上司」 事例3「同僚からのパワハラ」 【28分】
	A-3	ハラスメント LGBT 障がいの ある人 外国人 同和	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	平成29年度	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。 このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。 【40分　字幕あり・副音声あり】
	A-4	ハラスメント	見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント	平成29年度	職場における性的少数者に対するセクシュアル・ハラスメントについて考えます。 【29分】
	A-5	企業	企業活動に人権的視点を② ～会社や地域の課題を解決するために～	平成31年度	企業活動にCSRや人権的視点を取り入れている組織の経営者や関係の皆様へのインタビュー、実際の取組の様子、従業員や地域の人々の声などを照会するドキュメンタリーです。また、各事例の取組ポイントなど専門家による解説も収録しています。 【96分55秒】
	A-6	企業	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	令和4年度	企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 【ロングバージョン：35分52秒　ショートバージョン：13分27秒】
	B-1	いじめ	プレゼント	平成15年度	小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香に いじわるを始める。美由紀が いじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになった。ただひとり、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまった… 【対象 小学3年生、4年生/17分/字幕入り・字幕無し】

B-2	ハンセン病	未来への虹 -ぼくのおじさんは、ハンセン病-	平成17年度	この作品は、ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれたこども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病-平沢保治物語-」をもとに、小学校高学年以上のカタに見てもらう事を目的として作られたものです。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担うこどもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。 【アニメ／30分／字幕入り・字幕なし】
B-3	啓発一般	法務省人権啓発ビデオ集	平成18年度	・プレゼント 【17分】 ・私たちの人権宣言-転校生はおばあちゃん!?- 【50分】 ・人KENまもる君とあゆみちゃん～世界をしあわせに～ 【15分】 ・未来への虹 【30分】 ・桃色のクレヨン 【28分】 【字幕入り・字幕なし】
B-4	いじめ	桃色のクレヨン	平成18年度	この作品は、(財)人権教育啓発推進センター主催の2004(平成16)年度「人権に関するストーリー募集」の最優秀作品「桃色のクレヨン」を原作にアニメーション映像化したものです。「桃色のクレヨン」では、「かけがえのない命」の大切さと「思いやりの心」を大事にしていくことに気付いていく主人公の姿をテーマにして、こどもと大人が一緒に見て楽しめ、少しほろっときて、それでいて心が温まる作品です。 【アニメ／28分】
B-5	いじめ	見上げた青い空	平成19年度	ある日の昼休み、何気なく校庭を眺めていた岸田の目に、校門に立ち尽くす幸江の姿が映ります。その頃の幸江は既に保健室登校になっていました。学校に入れず立ち尽くしている姿は、同じように校門に立ち尽くしていた良太の姿と重なります・・・。この作品には、ドラマに登場した役者がいじめ問題について、それぞれの立場で語るパートがあります。そこにはいじめ問題を解決するためのヒントが盛り込まれています。この作品を見て、みなさんもクラスでいじめ問題について話し合ってみてください。 【34分】
B-6	こども	じんけんの森の大冒険	平成20年度	クイズに挑戦しながら、じんけんの森を冒険してみたり、いろいろなところで活躍している人たちから、みんなへの応援メッセージが届いていたり、お話を読んで、人権について考えてみたり等々、パソコンやDVDプレイヤーで、大人と一緒に人権について楽しく学べる内容になっています。
B-7	いじめ （インターネット）	インターネットの向こう側	平成21年度	この作品は、中学生・高校生たちにインターネットにおいて生じる人権に関する課題の本質を把握してもらうとともに、その対処法や被害にあった際の相談方法などの必要な情報を盛り込み、併せて周囲の大人にも問題点を提示し、理解してもらうことを目的としています。 『いじめ問題を克服したはずの青野北高校2年A組に「学校裏サイト」を利用した「ネットいじめ」の問題が起きる。同時に、「なりすまし」の「プロフ」を作られ被害を受ける生徒も。担任教師は、インターネットを利用した誹謗中傷や個人情報の漏えいは「人権侵害」であるということを理解してもらおうと、携帯電話やインターネットが抱える問題点について保護者や生徒達と話し合う・・・。』 【ドラマ27分・解説10分】
B-8	いじめ （インターネット）	（作品1）勇気のお守り （作品2）自分の胸に手を当てて	平成23年度	こどもたちをめぐる人権問題には、いじめや不登校、体罰、児童虐待など様々なものがあります。今回のDVDでは、こどもたちの身近な生活の中で起こりえる「いじめ」をテーマに、2本の作品を収録しています。 この作品を通じて、いじめの解決と、こどもたちに「一人一人が大切な存在なんだ」と気づいてもらうことを目的としています。 （作品1）勇気のお守り 転校生の林太郎は、クラスメイトとの間で起こってしまった事件を契機に学校を休むようになってしまう。しかし、友人の思いやりや「こどもの人権SOSミニレター」による人権擁護委員への相談をきっかけに、次第に立ち直っていく… 当事者同士では、解決の難しいこどもたちのいじめについて、考えてもらうきっかけとなるアニメです。 【ドラマ16分　DVD（字幕あり・副音声あり】 （作品2）自分の胸に手を当てて 学校裏サイトの掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校となる優子。そして書き込んだ未唯もネットいじめのターゲットとなっていく。問題解決のために、洋平は「こどもの人権110番」へ相談し、クラス全員で話し合うことになるが… 近年、社会問題となっている学校裏サイトやネットいじめについて、その本質を理解してもらうアニメです 【ドラマ15分　DVD（字幕あり・副音声あり】

こども	B-9	DV	デートDVって何？ ～対等な関係を築くために～	平成24年度	デートDVは、若者にとって非常に身近な問題です。この問題の根底には、男女の権利は平等であることや、お互いの人権を尊重することが大切である、といった人権に関する意識が希薄になっている状況があると考えられ、また、若者はデートDVの問題に直面した時、一人で抱え込む傾向が強いことも伺えます。本教材は、若者が交際相手との間で、暴力の被害者にも加害者にもならずに、対等な関係を築けるよう、デートDV防止の啓発に役立てるための教材として制作しました。 （内容） 「デートDV」について説明後、3つの事例をドラマ形式で紹介し、人権擁護委員による事例解説を行う流れとなっています。 ● 事例紹介①「僕は君だけのもの？」 大好きな和也を独占したい千夏。 千夏の言動が和也を困らせている事例。 ● 事例紹介②「彼の言うことは絶対？」 彼の要求に応えることが愛情と感じて楽しい。 しかし、エスカレートする彼の要求に、疑問を感じ始める事例。 ● 事例紹介③「好きなら何でも受け入れるの？」 雄太が彩香にお金をせびる、暴力を振るうなど、身体的、経済的な暴力に発展している事例 【計22分 DVD（字幕あり・副音声あり】
	B-10	いじめ	わたしたちの声 3人の物語 ～「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品をもとに～ （作品1）いじめをなくすために、今 （作品2）温かさを分け合って （作品3）リスペクト・アザース	平成25年度	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品の作者の中学生が、日常生活のなかで「人権」について理解を深めていった〈気付き〉のプロセスを描いています。 「いじめ」、「風評による偏見や差別」「震災と人権」、「お互いをリスペクト（尊重）すること」をテーマにした3編のドラマを通して、視聴者に、身近なところから「人権とは何か」「人権尊重とはどういうことか」といった、人権への〈気付き〉を促すことを目的としています。 （作品1）いじめをなくすために、今（平成22年度第30回入賞作品） 作者の中学生が、自らの重い体験を通して、命の大切さを知り、いじめを傍観することをやめた経験を振り返ります。 なお、この作品の原文は以下、ホームページをご覧ください。 http://www.moj.go.jp/JINKEN/sakubun_21nendo/sakubun02.html 【ドラマ15分 字幕あり・副音声あり】 （作品2）温かさを分け合って（平成23年度第31回入賞作品） 作者の中学生が、東日本大震災を機に人の温かさに触れる一方で、偏見や心ない言動に接し、人権について考えを深めていく経験をつづっています。 なお、この作品のの原文は以下、ホームページをご覧ください。 http://www.moj.go.jp/JINKEN/sakubun_23nendo.html 【ドラマ15分 字幕あり・副音声あり】 （作品3）リスペクト・アザース（平成24年度第32回入賞作品） 作者の中学生が、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重し合うために何が大切かを考えます。 なお、この作品のの原文は以下、ホームページをご覧ください。 http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00054.html 【ドラマ15分 字幕あり・副音声あり】
	B-11	外国人 高齢者 いじめ ハンセン病 障がいのある人	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	平成26年度	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。 （作品1）本当の国際化とは（平成25年度第33回入賞作品） （作品2）電車に咲いた、笑顔の花（平成25年度第33回入賞作品） （作品3）立ち止まる（平成24年度第32回入賞作品） （作品4）NO！と言える強い心をもつ～ハンセン病問題から学んだこと～（平成25年度第33回入賞作品） （作品5）絆（平成23年度第31回入賞作品） 【46分 字幕あり・副音声あり】
	B-12	外国人 障がいのある人	わたしたちが伝えたい、大切なこと ーアニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品ー	平成28年度	法務省と全国人権擁護委員連合会が、中学生が豊かな人権感覚を身につけることを目的として実施している「全国中学生人権作文コンテスト」。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して、「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。 【31分 字幕あり・副音声あり】
	B-13	インターネット いじめ	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	平成28年度	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめやこどもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなはなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。〔出演：高橋みなみ〕 【30分／字幕あり・副音声あり】

	B-14	いじめ	クラッチヒッターみなみ	平成28年度	小学5年の遠山みなみがこの物語の主人公。所属する野球チームの部員がみなみ以外は全員6年生のため、引退後は部員がみなみ1人になってしまい、チームは解散してしまう。たまたまチームの見学に来ていた幼なじみの勝山麗香一緒に新たな野球チーム「赤城フェアリーズ」結成のため、部員集めに奔走する。いじめの内容も含んで、大人へと成長していく過程を描いた作品。 【本編74分、特典映像12分】
	B-15	いじめ	あなたは大丈夫？考えよう！ いじめ	令和5年度	小学生編と中学生編、2つのストーリーがあります。現在、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。 【28分42秒】
	B-16	DV	あなたは大丈夫？考えよう！ デートDV	令和5年度	「デートDV」は、身体的暴力に限らず、経済的、精神的、性的な暴力も含む幅広い問題を指します。本DVDでは、「デートDV」について、3つの具体的な事例を紹介し、それぞれに対する解説とディスカッションを行います。このセクションでは、暴力がなぜ発生するのか、そしてその背景にある具体的な問題点について掘り下げています。本DVDは、若者がデートDVに関する正しい知識を身に付け、被害者や加害者にもならずに、パートナーと対等な関係を築いていくためには どうすればよいのかを考えるための教材となっています。 【29分40秒】
	C-1	ハンセン病	未来への道標（みちしるべ） ～ハンセン病とは～	平成18年度	人権侵害の歴史、なくならない偏見・差別。その根底にあるものは何なのか。元民放テレビ記者の藪本雅子が、各地にある療養所や社会に出て暮らすハンセン病回復者らを訪ね、その真相に迫るとともに、今後の「人権の在り方」について問いかけます。ナレーションは、俳優の渡部篤郎が担当。 【30分／字幕入り・字幕なし】
	C-2	拉致問題	拉致～許されざる行為～ 北朝鮮による日本人拉致の悲劇	平成19年度	この作品は、政府・拉致問題対策本部（本部長安倍内閣総理大臣）が、拉致問題の解決に向け、拉致問題の概要や政府の取組み等を紹介したものです。1枚のDVDに、本編（約20分半）とダイジェスト版（約8分）を、それぞれ日本語と外国語（英・中・韓・露・仏・西・伊・独）の計9か国語で収録しています。 【ドキュメンタリー／28分】
	C-3	高齢者	社会福祉施設等における人権 「私たちの声が聴こえますか」	平成19年度	本作品は、女優の渡辺美佐子による「ひとり芝居」（施設職員編・入所者編）を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取組として実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為に当たるのか」ということが自然に理解されるような構成になっており、施設の運営に人権の観点が不可欠であることを強調しています。 【30分】
	C-4	同和	同和問題と人権 ーあなたはどう考えますかー	平成20年度	友一・佳美・美優・由香・西原の5人は、休日を利用して友一の実家に帰省する道すがら、故郷の話がきっかけとなり、みんなで同和問題について話し合うことになりました。部落差別、同和問題についての印象や考えはみんな様々で、父・友造と母・恵子の体験も聞いて知識を深めることにしました。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか、このビデオを見ながら一緒に考えてみませんか。 【28分　副音声字幕入り】
	C-5	一般啓発	ある日突然最愛の娘を奪われて	平成20年度	犯罪被害者及びその家族が事件後に感じる思いを、再現ドラマやインタビューを通じて分かりやすく解説しています。 【41分】
	C-6	一般啓発	人と人とのよりよい関係をつくるために	平成22年度	若年層を対象とした交際相手からの暴力の予防啓発教材「人と人とのよりよい関係をつくるために」を使った授業の例を、指導者向けにわかりやすく解説した教材です。若年層にそのまま視聴させることもできる部分も含めた構成になっています。 【42分】
	C-7	児童虐待 高齢者虐待 DV	虐待防止シリーズ パート1　児童虐待 パート2　高齢者虐待 パート3　ドメスティック・バイオレンス	平成24年度	このDVDは、「児童虐待」「高齢者虐待」「ドメスティック・バイオレンス（DV）」を取り上げ、こどもや高齢者、配偶者に対する虐待の事例をドラマで描くとともに、問題点や第三者としての関わり方について専門家のコメントを紹介しています。ドラマを通して、虐待を他人事ではなく、身近な問題として捉え、虐待の防止・解決について考えていくことを目的にしています。 （内容） 「児童虐待」「高齢者虐待」「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について説明後、それぞれの事例をドラマ形式で紹介し、専門家による解説を行う流れとなっています。 ● パート1　児童虐待 事例1　近所の通報が幼児の命を救う 事例2　学校による対応から解決へ ● パート2　高齢者虐待 事例1　近所の見守りが解決の糸口に 事例2　妻のためのリハビリが… ● パート3　ドメスティック・バイオレンス 事例1　友人の気付きが救いの糸口に 事例2　妹の働きかけから解決へ 【計46分／字幕あり・副音声あり】

一般	C−8	DV	配偶者からの暴力の根絶をめざして	平成24年度	平成20年に改正法が施行された「配偶者暴力防止法」の仕組みについて、再現ドラマや被害者へのインタビューを交えながら、分かりやすく解説した作品です。 【35分】
	C−9	外国人	この街で暮らしたい − 外国人の人権を考える −	平成25年度 （平成14年度）	近年、様々な国からやってきた外国人が私たちの町で暮らすようになりました。しかし、言葉や宗教、文化や価値観などの違いから、様々な人権問題が生まれている。今後、ますます国際化が進む中で、日本人と外国人がお互いに違いを認めあって、共に生きていくことができる社会を築いていくことが求められています。 この作品では、入居拒否の例をもとに近年日本に移り住むようになった外国人への偏見を描きながら、外国人の人権について考えていきます。 そして外国人の人権を大切にする、そんな社会は、とりもなおさず日本人にとっても暮らしやすい社会であることを伝えていきます。 【ドラマ32分　字幕あり（平成14年度に制作したものをDVD化）】
	C−10	障がいのある人	無関心ではいけない！障害者の人権	平成25年度	「障害者差別解消法」について、視覚・聴覚障害者、車椅子の方の日常を通して、差別について考えていく作品です。 【24分】
	C−11	同和	同和問題～過去からの証言、未来への提言～	平成26年度	この教材は、わが国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身につけておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。 【61分　字幕あり・副音声あり】
	C−12	性的マイノリティ	あなたがあなたらしく生きるために − 性的マイノリティと人権 −	平成26年度	性・セクシャリティは多様で豊かなものですが、それを理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くは、大きな心理的なストレスや生きづらさを感じています。誰もがありのままで受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めることを目的としています。 【30分】
	C−13	ハンセン病	ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～ 家族で考えるハンセン病	平成27年度	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を分かりやすく簡潔にまとめた「ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～」（56分）と一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる「家族で考えるハンセン病」（20分）の2つの映像作品から成り立っています。 【75分　字幕あり・副音声あり】
	C−14	国際人権 女性 こども 障がいのある人 外国人	すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～	平成27年度	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。 【35分　字幕あり・副音声あり】
	C−15	外国人	外国人と人権 ～違いを認め、共に活きる～	平成28年度	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何が出来るかを考える。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているかを学ぶDVD。 【33分　字幕あり・副音声あり】
	C−16	同和	そんなの気にしない	平成28年度	タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を乗り越える のもまた、相手を信じる力だということがこの作品から伝わります。 【17分】
	C−17	障がいのある人	障害のある人と人権　誰もが住みよい社会をつくるために	平成30年度	障害のある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。 【33分　字幕あり・副音声あり】
	C−18	一般啓発	人権擁護委員広報用動画	平成30年度	人権擁護委員の活動内容について、国民の皆さんにわかりやすく紹介しています。 【18分22秒／字幕入り・字幕なし】
	C−19	ハンセン病	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	令和2年度	隔離生活によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。 【34分40秒】

	C-20	同和	許すな「えせ同和行為」～あなたの会社を不当な要求から守ろう～	令和2年度	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。 えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。 本DVDでは、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。 【36分 字幕選択可・副音声選択可】
	C-21	こども	あなたは大丈夫？考えよう！児童虐待	令和5年度	９つの事例をアニメーション化し、事例ごとに解説をしています。こども向けの解説と大人(保護者)向けの解説の2種類が収録されています。 【32分57秒】
	C-22	アイヌ	アコロ青春	令和5年度	アイヌ民族にルーツを持つものの、そのルーツを意識せずに生きてきた青年が、同世代のアイヌの人々などを訪ね、アイヌ民族の歴史や文化を学び、アイヌの人々に対する差別について考えることで、違いを認め、お互いを尊重し合い、共に生きる社会を実現することの大切さに気づく過程を追った動画です。 【28分】
	C-23	ハンセン病	～ハンセン病と家族の物語～夢でしか帰れなかった故郷	令和5年度	ハンセン病は現代では発症することはほとんどなく、適切な治療を行えば治る病気であるにもかかわらず、かつて採られた国の強制隔離政策により、人々の心の中にハンセン病は恐ろしい病気だというイメージが植え付けられ、患者・元患者の方々のみならずその御家族に対する偏見や差別が作出・助長されました。ハンセン病患者を隔離するための法律が廃止された現代においても、このような偏見や差別はなくなっていません。 この動画（アニメーション）は、ハンセン病に関する正しい知識や偏見・差別の問題について、小学生でも分かりやすく学ぶことのできる教材となっています。 【13分】